事例No.	1990
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都江戸川区

事例区分	DX

タグ	・地域運営組織 ・福祉・介護 ・ICT

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

アプリを活用し、町会・自治会等と地域のボランティアをマッチング

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

10 アプリを活用し、町会・自治会等と地域のボランティアをマッチング【東京都江戸川区】

事業の概要

○ 江戸川区では、令和3年度からアプリを活用し、地域で困っている人とボランティアのマッチングに取り組むモデル事業を実施している。

○ 町会・自治会等の困りごとを地域共生社会構築の拠点である「なごみの家」が登録し、アプリをインストールしているボランティアに情報が届く仕組みである。

○ 情報を受け取ったボランティアが、アプリから応募することで町会・自治会等とのマッチングが成立する。会員の減少に悩む町会・自治会等がこの仕組みを活用し、ボランティアの力を借りて地域の清掃活動を行うなど、住民等に身近な仕組みとなっている。



チラシ

【参考情報】 人口：69.6万人
関連URL： ー

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）
地域共生社会構築の拠点である「なごみの家」を受託する地元事業者が、日頃接する町会・自治会の担い手不足の声や、ボランティアに興味を持つが踏み切れない若者を見て、これらをマッチングして地域を活性化させたいとの強い想いと区の地域共生社会を実現したい思いが一致したことから、この取組が実現しました。



（江戸川区）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？

人材のマッチングや社会参加への支援といった切り口で補助金の活用を検討していますが、令和３年度の補助金の活用はありませんでした。





住民の反応（声）はいかがですか。

この事業により、町会・自治会の美化活動のボランティアに初めて参加した中学生から、多世代との交流や美化活動に参加できたとの喜びの声が聞かれました。また、若者とのきずなを喜ぶ熟年者の声もありました。



★担当：江戸川区福祉部 福祉推進課★

令和3年度事業費 5,000千円